

# ExFact VR 2.0 画像計測オプション



X線CTなどから得られた断層画像をボリュームレンダリングにより二次元/三次元的に可視化するソフトウェア「ExFact® VR 2.0」に別売りで機能追加できるオプション製品

2D/3D 長さ計測と、三次元画像の輝度分布を正規分布に近似して評価/分析できます。

「ExFact®」(エクスファクト)は、三次元画像処理を行う弊社ソフトウェアのブランド名として考案された造語です。ソフトウェアを使って、事実 (Fact) を調べる (Examine)、表現する (Express) といった意味を持ちます。

## 機能と特徴

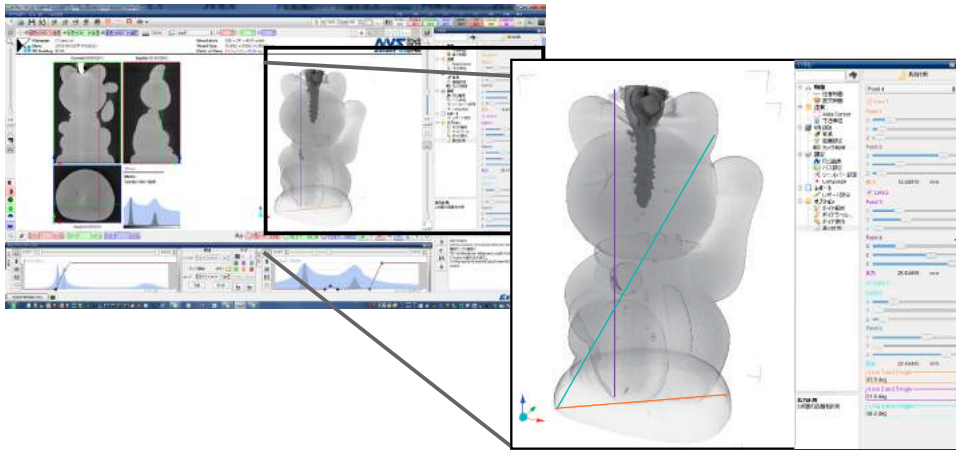
- 三次元画像上で単純な長さ計測、角度計測ができます。
- 三次元画像の輝度評価を、正規分布に近似し、評価/分析できます。従来、人が適当にやるしか無かった閾値設定や色付けを intelligent に行い、ボリュームデータの輝度情報全般に関する統計解析に持ち込むことができます。
- 三次元の視野全体について、特定の材料の割合を量的に評価し、XYZ 方向の異方性、ばらつき、周期性などを評価できます。



本ソフトウェアの  
マスコット  
ミケオくん

## 2D/3D 長さ計測機能

- ・MPR 画面上でポイントを指定して、3次元画像における2点間の距離を計測できます。
- ・2本の線分を指定し、それらのなす角を計測することも可能です。

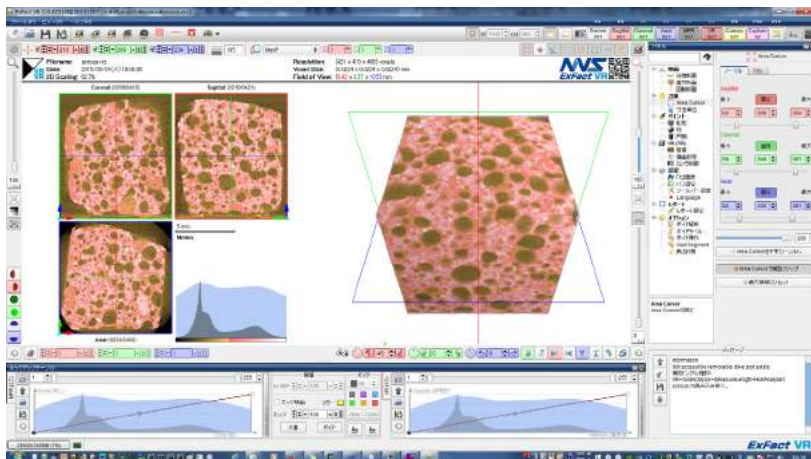


各スライダを左右に動かす、  
もしくは2D画面の任意の場所を  
クリックするだけで、  
2点間の長さを計測できます。  
最大で、3つの距離を計測することが可能です。

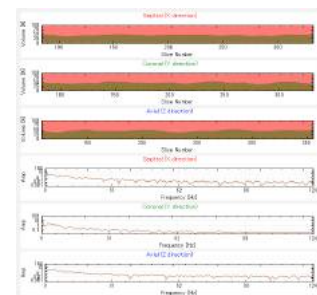
また、複数の線分を指定することで、  
パネルの最下部にそれら線分のなす角度が  
自動的に表示されます。

## ヒストグラムアナライザ機能

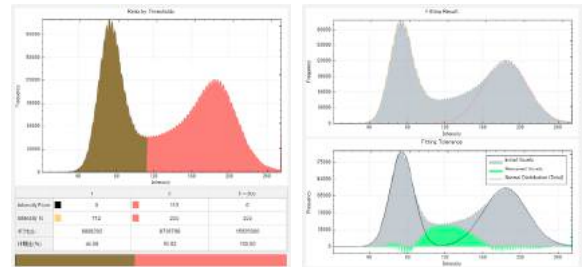
- ・三次元画像ヒストグラムのピークを正規分布曲線に近似して評価・分析できます。
- ・従来は勘に頼ることの多かった二値化の際の閾値設定を、明瞭な基準に基づいて行うことができます。
- ・複数のピークが近接/一体化したヒストグラムの閾値設定に効果を発揮します。



上図では、ピンクが材料、ベージュが空隙となっています。  
マウスの簡単な操作で、ヒストグラムの特定の材料のピークを正規分布にフィッティングして、閾値設定、特定材料の割合を量的に評価、分析ができます。



▲XYZ方向の異方性等を示したグラフ例



▲ヒストグラムを正規分布したグラフ例

※仕様、発売時期等は予告無く変更することがあります。※会社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。